

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2417 第20回例会 2015. 11. 19 晴

点 鐘：千葉一利 会長
進 行：白石幸久 SAA
ソング：奉仕の理想

会長挨拶

千葉一利 会長



皆さん今日は。先週の理事会の報告をします。

1. 事務所の移転について

次のようにして荷物を運びます。突然で申し訳ありませんが、今日19日は、ゴルフに参加しない人でそれぞれの車で運ぶ。理事を中心とするが、他の会員も協力して行う。19日の作業責任者は高橋幹事。

26日は、ゴルフ人達とその他協力者で、大きなものを運ぶ。責任者は榎本副会長。

この二日間で荷物運びは完了させる。

2. さざ波館での最後の例会は12月3日とする。謝礼は、5万円。12月10日からは、いち川で例

会を行う。欠席者各方面への連絡。さざ波館への感謝の言葉と謝礼を

3. 刈込八束会員の退会に関して

一身上の都合による退会届を理事会が承認、来年1月退会、12月31日までは会員

次にアンケートの事です。お配りした用紙をご覧ください。ロータリーの上半期の活動についてのアンケートです。なるべく具体的に書いてください。提出者氏名は必ず書き12月10日必着でお願いします。

それから、引っ越しまで落ち着きません。私の話はその間なるべく短くしたいと思っています。ただし、卓話の時間は、きちんと確保していくつもりです。みなさんも連絡・報告などなるべく簡潔にお願いします。ご協力ください。

今日の朝日川柳から

『世界中 戦争になる 心配する』

『我々も くらっています 猫だまし』

幹事報告

高橋裕之 幹事

1. 地区大会参加者の確認
2. 地区委員推薦のお願い(回覧)
3. 国際大会参加のお願い(回覧)
4. 富津RCより会報受領(回覧)
5. 台風18号義捐金協力の礼状受領(回覧)

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



委員会報告

米山記念奨学会寄付について

須藤 隆 米山担当部長



1. 米山奨学会寄付について

10月の米山月間に米山奨学会寄付のご協力をお願いし、多くの方に特別寄付のご協力を頂きました。まだ全員の方からご協力を頂いておりませんので、残りの方については12月上旬までお待ちし、12月中旬に米山奨学会に送金いたしますのでご承知ください。

2. ㈱キミカ工場見学について

12月10日にアルギン酸の世界トップ企業に成長した㈱キミカの工場見学を予定しております。キミカの社長が是非富津中央ローラークラブの皆さんにお会いしたいとの要望により、当初11月19日の予定を社長の都合に合わせて変更した経緯があります。地元の有力企業でもあり、出来るだけ多くのご参加を希望します。

『第39回RYLAセミナー』に参加して

渡辺哲夫 青少年奉仕担当部長



平成27年11月14日(土)・15日(日)の一泊二日の日程で、船橋市立一宮少年自然の家での開催の、第39回RYLAセミナーに三平雄太君(21歳)・中村翔(21歳)の3名で参加してまいりました。

RYLAの歴史については今更私が言うまでもな

く、1976年日本でスタートし、当2790地区(千葉県全域)では1978年(昭和53年)11月に第1回セミナーが開催され、今年で第39回を迎えました。

ロータリアンと少年が一泊二日の間、寝食を共にし、共に考え、共に協議し、懇親しながら心のふれあいを通じて、青少年は知恵とリーダーシップを身に付けロータリアンは、若者達とコミュニケーションスキルを再確認する。そこで、教材は『歩行ラリー』を使い、参加者に『事実とは何か』『真実とは何か』これまでの生活で会得してきた知識や経験が『先入観』『既成概念』となり多くの間違いを犯すことを実証し、考える機会を与えるものであります。

ロータリアンと青少年の参加者は70名、役員・実行委員は約30名の総勢約100名と大勢の参加があり、9時から受け付けて10時に開講しました。

始めに、ロータリアンと青少年の参加者70名をAユニット、Bユニットの2組に分けられ、さらに各ユニットを4組に分けられ、歩行ラリーについての説明・歩行ラリーの研究・対策について研修会が行われ、昼食の後、各組を2・3名1組のペアで、午後1時に第1回歩行ラリーがスタートしました。

ラリー終了後、事実と再現の調査・検証項目の検討会が研修室で開催され、夕食・入浴の後、19時30分から基調講演並びに成績発表が行われ、日鉄住金環境株式会社の前社長、元君津RCで、RI第2790地区元新世代育成委員長の河合潤先生による、『豊に生きる!』と題しての基調講演が行われた後、第1回の歩行ラリーの成績発表及び表彰式が行われました。

第1回のラリーにつきましては、まさに『先入観』『既成概念』にとらわれ、しかも雨天の中、なかなかチェックポイントが見つけれず、完走出来たチームがほんの少しでした。(ちなみに私は16歳の女子高校生とのペアリングで無事完走し、個人成績でも第4位、団体では第3位という成績でした。)

15日の第2日目、6時30分起床。7時から朝の集い・ラジオ体操、各部屋の清掃の後、朝食後、9時より第2回歩行ラリーがスタートしました。ペアリングは昨日と同じで、昨日の検証結果並びに対策会議が功を奏して、朝から昨日に引き続き雨の降りしきる中ではありましたが、各チームほぼ全員が時間内に完走する事が出来ました。(コマ地図の見方を

修得した結果です。) (ちなみに私達ペアは、個人成績で昨日と同じ第4位、団体では第2位という2日間ともに好成績でした。)

昼食の後、2日間の研修・体験のまとめ・壁新聞の作成。アンケート作成とそのとりまとめが研修室で行われ、14時から第2回成績発表が行われ、15時から閉講式が執り行われ、参加者青少年の声、ロータリアンの声がそれぞれありAユニットから私もロータリアンの代表として発表させていただきました。

終わりに、最初はお互い見知らぬ同士、歳下は16歳の高校生、年長者はおそらく自分ではないかと思いますが、50歳も離れた世代同士、最初は会話もそこそこ、ぎくしゃくとしていましたが、歩行ラリーを通じてコミュニケーションも図られ、心も打ち解けあい、久しぶりに有意義な研修会を体験させていただきました。

ロ財団寄付のお願い

白石幸久 ロ財団担当



11月は、ロータリー財団月間です。先月の米山寄付に引き続き、財団寄付をお願いいたします。



会員卓話

私の少年時代

高島治雄 会員



大変プライベートなお話であり楽しいお話でもないので恐縮ですが、本年8月で戦後70年が過ぎ、その戦時中に育った私の少年時代のいろいろな体験・経験を話したいと思います。恐らくこの地で育った同年配の人たちには、なかったのではないかと思います。

○1932年(昭和7年)5月兄、2人の姉の末っ子として横浜で生まれる。小学校は横浜市立瀧頭小学校(私は美空ひばりの先輩)

○1941年(昭和16年)小学校3年の時
早朝、真珠湾奇襲作戦をもって大東亜戦争が始まる。

○マレー進攻→マレー沖海戦→シンガポール陥落等々大本営からの戦勝が伝えられ予期以上成巧、しかし次第に反攻されて来て17年4月には初めて東京が空襲される。

○1943年(昭和18年) 占領地は奪還され、幾多の島々も玉砕が続き敗色が強くなる。その象徴が山本五十六元帥の戦死と言える。

○1944年(昭和19年) 空襲が頻繁に日本中に広がり、東京・大阪・横浜など主要都市ばかりでなく、地方都市まで無差別爆撃が始まる。これにより子供を空襲から守るため都会の学校が数多く閉鎖されることになる。私の小学校も閉鎖された。子供達は親戚や縁故をたどって地方に疎開するか、或いは学校で計画する集団疎開するか選択させられることになる。5年生の時である。私は姉が結婚した相手の生家に縁故疎開する事になった。疎開先は愛知県の三河湾沿いの吉良吉田という町である。トイレで良く帰りたいと泣いた物だが、ここで今までの横浜の生活とは異なるいろいろな体験をした。

○塩田での製塩の手伝い

○横浜の家に、そろばんを取りに1人旅での体験

○はじめて機銃掃射を受ける

○赤フンとサメ

○そして大地震に遭遇

戦局も良くなく、国民の不安を拡散させないためか報道統制されたせいも、あまり知られてない、関東大地震に匹敵する大地震であった三河地震と言われる。私が通学していた学校も一瞬にして倒壊、窓から校庭に逃げ出し一命が助かる。校庭では立ってられないほどの揺れであった。今でもその驚怖が忘れられない。

○1944年(昭和19年8月)再び横浜へ

疎開先の学校が倒壊したため、横浜でも閉鎖されていない小学校に再び帰る。当時は田園地帯が残る上大岡の(今では副都心)桜ヶ丘小学校に転校、そして20年4月、6年生で旧制第三中学に入学。

○1945年(昭和20年)4月からの中学校生活

連日の空爆の中、これが戦争なのかと毎日感じながらの登校。20年1月からの空爆は、その機数45,000機、被害者1,000万人死傷者665,000人に達するとの統計。

○山下公園で再び機銃掃射をうける

○そして横浜大空襲

最後の電車で自宅に辿り着く

○それからの中学生生活

焼夷弾の焼ける匂いの中で連日市内の焼跡整理奉仕作業、弁当は焼けた缶詰1コ、時には焼死体の運搬、これぞ地獄絵である。こんな体験は恐らくこの地では考えられないこと。日々学習ずらない連続であった。

○1945年(昭和20年)8月

8月6日、広島に原爆投下され、8月9日にはソ連が参戦をして、同日長崎に原爆が投下された。そして、8月15日陛下の無条件降伏のご聖断が下り、終戦を迎える事になる。

○終戦後の生活

いち早く米軍が上陸、不安な日々の連日が続く。私も学校で学習する事もない日々であった。両親と姉二人そして私の家族の生活は心配続きで父は自分の職と住居を捨て、父の生まれ故郷であるこの佐貫に帰る決断をする事となる。

○1946年(昭和21年)2月

ここから富津っ子になる。2月に旧木更津中学校に編入試験をうけて入学。その時の校長鈴木庄三先生の面接を校長室で受けたのを覚えている。

ここから数少ない木更津中3年木更津高校3年計6年間の学生生活が始まる事となる。後日談だが、私が初任教师として小糸東中学校に赴任するとき小糸町の教育長になっておられた鈴木先生の面談を受けた。二度の面接である。人生ご縁があるものですね。

ノーベル賞受賞の大村先生と駆虫薬

山下 厚 会員



富津中央ロータリークラブの仲間に入れていただいて7か月が経過しました。私にとって初めての卓話です。百戦練磨の先輩の皆様方のように、多くの示唆に富んだ面白いお話はできませんが、よろしく願いいたします。

さて先般の大村先生のノーベル医学・生理学賞受賞はわが国に大きな喜びをもたらしてくれました。発表前の下馬評にも殆ど上がっていなかったようですから、受賞して初めて大村智先生のお名前を聞いた方もいらっしゃるかと思います。

先般出した私の著書の第32話に大村智先生のことにも触れた部分があります。3年前の10月に書いた文章でした。実は私は大村先生のごことは37~8年ほど前から知っていました。伊豆の川名のゴルフ場の土の中から、画期的な駆虫薬を産生する微生物が発見されたという朝日新聞の科学欄に載った小さな記事を覚えています。切り抜いてずっと持っていました。しかし今回あっちこっちひっくり返して探したのですが、どこに行ってしまったのか見つけることができませんでした。きっと私の書斎の乱雑ぶりを見かねた妻が捨てたのでは、と疑っています。

太古からヒトは多くの寄生虫疾患に悩まされてきました。当然それまでも寄生虫撲滅のために多くの努力が傾注され多くの効果を上げてきました。皆様方の多くも小学校時代、学校で駆虫薬というより虫下しを飲まされたことがあるのではないのでしょうか。その当時、全国的に蔓延して子どもの栄養状態に悪影響を及ぼす回虫が目の敵にされていました。この回虫の虫下しは確かサントニンと言ったような記憶があります。大村先生が発見したイベルメクチンのすごいところは、駆虫効果がそれまでのものに比べて圧倒的に高く、且つ安全性が高い、つまり副作用が殆どないこと、また先に述べた回虫のように、胴体が円形で細長い外形を持つ多くの円虫類に効果を発揮するという点でした。円虫にはフィラリアと言われる糸状虫、回虫、ギョウチュウ、鉤虫、動物の分野では馬円虫、豚腎虫など多くの寄生虫が含まれます。また人畜共通の寄生虫として恐れられた日本住血吸虫もこの円虫の仲間です。更にイベルメクチンは体の内側に寄生する円虫類以外にも外部寄生虫、つまり皮膚の表面に寄生するダニ、疥癬虫などにも特効薬的な効果を示すという、本当にすぐれものなのです。

犬を飼っている方は毎年5月ごろから11月ごろまで毎月1回、イベルメクチンを飲ませ続けることが今や常識として定着しているものと思います。

この大村先生が発見したイベルメクチンが世に出回る昭和55年ごろまでは我が国の犬は平均して3歳まで生きることができなかったそうです。ところが今では15歳まで生きることです。イベルメクチンの駆虫効果が大きな貢献をして犬の寿命を10年以上伸ばしたということです。なんとも驚いてしまいます。

多くの場合、ウシに寄生するフィラリア虫はセタリア・ジギタータと言う種類ですが、通常は腹腔内の胃や肝臓、腸などの臓器の隙間を満たしている栄養たっぷりの腹水の中にいるので症状を出すことはありません。第四胃変位症や帝王切開などで開腹手術をすると、直径1～2mm、長さが7～8cmほどの糸状の白い虫が手や腕に絡まってきます。皆様方はどう思われるかわかりませんが、私はこの虫をいつもかわいいと思っていました。

しかしウシと同じように胃袋が4つあり反芻をする

家畜でもヤギやヒツジのフィラリア症は大きな問題になります。フィラリア虫が脊髄に入り込むことが多く、腰麻痺つまり腰から下が麻痺して、立てなくなってしまう症状を引き起こすのです。ですから三井さんのマザー牧場のヒツジやヤギも蚊が飛び回る5月から11月にかけては予防処置をしているはずですが、私が若いころは1頭1頭筋肉注射をしていました。3～4人の若い獣医師で行って、牧場の若い従業員の方々と一緒になって逃げ回るヒツジを押さえつけては400頭ほどのヒツジの1頭、1頭に注射したことを覚えています。そのあとでご馳走になったジンギスカンが大変おいしかったことも覚えています。今は薬剤を背中に垂らすだけで素晴らしい駆虫効果を発揮するイベルメクチン製剤がありますから、腰麻痺の予防も大変楽になっています。これもイベルメクチンを発見した大村先生とそれを製品化してくれたアメリカのメルク社のお陰です。

ところで、西郷隆盛は大金玉だったといわれています。しかし正確に言えば、これは精子や男性ホルモンを作る精巣が大きかったのではなく、二つの精巣を容れている陰嚢が顕著な水腫を起こしていたのです。これはフィラリア虫の一つ、バンクロフト糸状虫といってヒトにだけ寄生する糸状虫がリンパ系に寄生することでリンパ循環を阻害されて発症するものです。子どものころ沖縄の那覇に住んでいた少し年下の友人から聞いたのですが、その当時昭和30年代の終わりころでも那覇では銭湯で大きな金袋を提げたおじいさんを見かけたそうです。

今回の大村先生のノーベル賞受賞関連の報道ではオンコセルカ症の予防、撲滅に大きな貢献をしたことが受賞理由の一番に取り上げられていました。オンコセルカ症は回旋糸状虫症を引き起こすもので、日本語訳では河川盲目症と言われます。主にアフリカや中南米、東南アジアの方々毎年1,800万人あまり罹患し、27万人余りが失明していたそうです。この病気は蚊ではなく、ブヨ(ブユともいう)が媒介するそうです。この病気も近い将来、イベルメクチンによって撲滅できるという見通しが立っているようです。

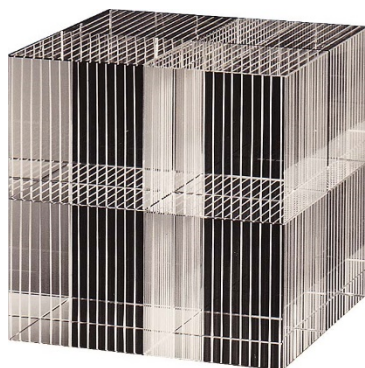
フィラリア症を引き起こす蚊とオンコセルカ症を引き起こすブヨではその発育環境に大きな違いがあります。蚊は小さな水溜まりや、ドブ、池など、水の流

れがないところを好んで発生します。ところがブヨはきれいな流れる水の中にしか棲めないのです。ここにもブヨの撲滅、オンコセルカ症の撲滅の難しさがあったのです。オンコセルカ症発症地では、豊かな土地があり、きれいな水があってもそこを放棄し逃げ出さなければならないこともあったのです。これはオンコセルカ症の発症地では食糧問題も同時に発生したことを意味しています。大村智先生が発見したイベルメクチンはオンコセルカ症の撲滅に大きく寄与しているだけではなく、途上国の食糧問題にも大きな貢献をしているのです。

既に富も名誉も手にしながら謙虚さを失わず、その富の多くを研究所へ寄贈したり、また美術館を建てたりして社会に還元している大村先生。その生き方はまさしくロータリアンの理想そのものではないか、と私には思えます。皆様いかがでしょうか。

私は金にも名誉にも程遠い人生を歩いて来ましたが、娘二人に学費がかからなくなった直後から少額ではありますが、国境なき医師団、それにユニセフには毎年寄付を続けています。ロータリークラブに入らせていただいて今年からは米山奨学金にも少額ながら寄付をさせていただけるようになりました。自己満足かも知れませんが、そのことによって助かる方が、喜んでくれる方がいるのであれば、貧しい、質素な生活の中から工面しながら続けていきたいと考えています。

大村先生のノーベル賞受賞は、大村先生が医学、獣医学面などで世界的な大きな貢献をされたことを世の多くの人々に知らしめ、喜びを与えてくれました。しかしそれだけではなく大村先生のノーベル賞受賞は、その生き方を通して我が国の子どもだけでなく大人にも大きな生きる指針を示してくれたのではないかと私は思っています。



ニコニコBOX

渡辺哲夫 親睦担当委員

千葉一利 事務所の引越しよろしくお願ひします
 高島治雄 卓話を聞いていただいて
 山下 厚 初めて卓話をさせていただき
 金子光晴 栗原会員のお母さんにTV撮影のご協力をいただき有り難うございました
 渡辺哲夫 第39回RYLAセミナーに参加しました
 白石幸久 昨日、4人目の孫が生まれました

合計 6,000円

出席報告

志波 克 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	27/25	19	6		76.00%
前回	27/25	19	5	1	80.00%
前々回	27/24	21	3		87.50%

総会員数：28名－休会1名＝27名

先週、同窓会のため欠席したので、昨日富津シティクラブにメイクアップしました。やや少人数ながら温かく、キチンとした例会進行に感心しました。又、雑誌委員の発表は大変参考になりました。

皆さんも積極的にメイクアップをするようお勧めします。(志波)

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会 18:00)
火	富津(月末 18:30 10～3月 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シティ(特 18:00)
木	上総、木更津

君津 RC ホテル千成 0439-52-8511
 袖ヶ浦 RC レストラン菜心味袖ヶ浦店 0438-60-1753
 富津 RC 宮島 0439-67-0965
 木更津東 RC ロイヤルヒルズ 木更津ビューホテル 0438-23-0211
 富津シティ RC 新日鐵住金富津クラブ 0439-80-2525
 上総 RC 割烹旅館 山徳 0439-27-2003
 木更津 RC 東京ベイプラザホテル 0438-25-8888